



議会だより

No. 29 2012年2月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 阿部久夫
●編集：議会広報編集特別委員会



暴力追放宣言集会 (1月10日)

暴力追放については市議会でも昨年3月議会で「暴力追放の宣言を求める決議」を行いました。それを受け1月10日に宣言集会が行われました。今後、暴力団排除に向け条例制定を進めます。

議事録等 詳細は…

南魚沼市議会

検索

新しい議会構成が決まりました……………	2P
12月議会の概要……………	3～4P
地域医療対策調査特別委員会報告……………	4P
議会全員協議会の概要 大原運動公園整備事業中間報告、豪雨災害復旧事業報告……………	5～6P
市長所信表明……………	6P
一般質問 19名が市政を質す……………	7～16P
12月議会から…注目の事業……………	17P
第2回臨時会、12月議会の全議決結果……………	18～19P
「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会要望活動……………	20P

新しい議会構成が決まりました

希望輝く南魚沼市に



議長
阿部 久夫

市民の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

昨年11月、若井前議長の後任として浅学菲才である私が議長に就任いたしましたことは、誠に身に余る光栄であり、責任の重大さを感じ身の引き締まる思いであります。

昨年7月の豪雨により、当市も未曾有の大災害に遭遇し、被災された方々を思うと心が痛みますが、市議会も市行政とともに一日も早い復旧に向け努力してまいります。

さて、本年は道の駅「雪あかり」のオープン、魚沼基幹病院（仮称）の整備事業、大原運動公園整備事業、特別支援学校の設置準備など大事業が目白押しなのなか、財政問題等いろいろな課題もありますが、皆さまの生活の安定を第一に、期待に応えられるよう誠心誠意努力する所存であります。

今後とも市議会に対し、ご指導ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

二元代表制議会の充実



副議長
今井 久美

昨年11月11日の臨時会におきまして、多数の議員の皆様方からご推挙賜り、副議長に就任いたしました。日々緊張の連続であります。

昨年は、東日本の震災、7月の豪雨災害、紀伊半島の台風など自然災害が猛威を振るい、市内にもかかわらず被害を残しております。震災、津波による原発事故の終息は、まだまだ時間の経過が必要な状況にあります。

また、市を取り巻く経済環境は、国の財政状況とあわせ円高を主因とする市場の減速、消費の低迷など大変厳しいものがあります。これら市内外の情報を把握し、これからの南魚沼市の進んでいく方向を決めたいかねばなりません。地方自治の原則である、各々選挙で選ばれた二元代表の市長と議会が、活発な議論をし、議決、執行できるよう阿部議長のもと、公正かつ活力ある議会運営に努めてまいります。

市民各位のご指導、ご理解をお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

○議長：阿部 久夫 ○副議長：今井 久美 ○監査委員：腰越 晃

委員会名	委員長	副委員長	委員	主な役割		
常任委員会	総務文教委員会	関 昭夫	小澤 実	桑原 圭美 井上 智明 笠原 喜一郎 松原 良道	鈴木 一雄 牛木 芳雄 岡村 雅夫	総務部、市民生活部(税務課)、会計課、教育委員会、議会事務局、監査委員事務局、選挙管理委員会、固定資産評価審査委員会、および他の委員会の所管に属しない事項の調査
	産業建設委員会	山田 勝	黒滝 松男	林 茂男 寺口 友彦 腰越 晃	牧野 晶 関 常幸 中沢 俊一	建設部、産業振興部、企業部、農業委員会の所管に関する事項の調査
	社会厚生委員会	中沢 一博	塩谷 寿雄	今井 久美 樋口 和人 岩野 松	佐藤 剛 阿部 俊夫 若井 達男	市民生活部(税務課を除く)、福祉保健部および福祉事務所、並びにゆきぐに大和病院および城内診療所の所管に関する事項の調査
議会運営委員会	井上 智明	鈴木 一	寺口 友彦 関 昭夫 中沢 俊一	関 常幸 腰越 晃 岡村 雅夫	定例会の会期、議事日程、常任委員会の運営、一般質問の取扱い、陳情・請願の取扱い、閉会中の継続審査、特別委員会の設置、議長・副議長の選挙など、議会運営上の問題についての検討	

平成23年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)

2億7,824万円追加補正し、

総額 385億6,382万円に

(万円未満切捨)



「スキー場等施設整備 奨励条例」を制定

市内のスキー場の索道施設(リフト等)の整備を促進し、またはスキー場の再生を支援するための条例を制定しました。

対象は

- ・ 索道事業者が、新設、増設、または更新した施設で、新たな事業を行う場合。
- ・ 破産手続きが開始されたスキー場を、破産者から譲渡を受けた者が、引き続きそのスキー場で事業を行う場合で、そのことにより、雇用の創出や維持が図られる場合。

支援措置

対象施設に課せられる固定資産税の減額または免除。

【主な歳入】(抜粋)

- ・ 保育園入園費負担金……………2,295万円
- ・ 障がい者自立支援給付費国庫負担金……………5,752万円
- ・ 子ども手当国庫負担金……………△1億7,931万円
- ・ 災害救助法に基づく災害救助費負担金……………△7,230万円
- ・ 合併振興基金繰入金……………1億2,720万円
- ・ 減債基金繰入金……………2億1,982万円
- ・ 市債……………9,480万円

【主な歳出】(抜粋)

- ・ 職員費……………△7,420万円
- ・ 辺地共聴施設整備事業費……………△3,000万円
- ・ 企画一般経費(合併振興基金積立金)……………3億1,982万円
- ・ 自立支援事業費(介護給付費)……………1億1,563万円
- ・ 子ども手当支給事業費(※下段関連記事) ……△1億9,828万円
- ・ 常設保育園保育費(保育園非常勤職員賃金)……………5,866万円
- ・ 災害救助費(豪雨災害)……………△1億1,230万円
- ・ 特別支援学校建設事業費(設計業務委託料)……………2,000万円
- ・ 豪雨災害その他一般施設応急復旧費(廃棄物対策課) ……2,356万円
- ・ 豪雨災害土木施設復旧費(建設課)……………1億1,700万円
- ・ 予備費……………5,807万円

子ども手当が変わりました

昨年10月から子ども手当特別措置法により、平成23年10月から平成24年3月までの手当額が変更になりました。

- ・ 3歳未満……………一律15,000円/月
- ・ 3歳以上小学校修了前まで……………10,000円/月
(第3子以降は、15,000円/月)
- ・ 中学生……………一律10,000円/月

※支給は昨年10月から1月分が平成24年2月に、2月・3月分は6月に支給になります。
平成24年3月30日までに申請すれば、平成23年10月分からの支給が受けられます。
まだ申請手続きが済んでいない方は、各庁舎窓口で受付を行っています。

南魚沼市の都市計画税が 変更になりました

南魚沼市では平成23年度現在、都市計画税の税率は0.2%となっています。これまでの議会の中において、都市計画税の取扱いについて議論されてきましたが、今回「南魚沼市都市計画税条例」の一部改正が12月定例議会に出され、全会一致で可決されました。

内容は、平成24年度の都市計画税の税率が現在の0.2%から0.1%に引き下げられるものであり、都市計画税額は半分となります。
残る都市計画税については、財源を含め、今後も課題を十分に検討していくこととなっています。

質疑応答

(抜粋)

問 地上デジタル改修が一部延期になり予算減額になったが、この地域は映らないのか。

答 共聴組合が作れず、3か所来年度に持ち越すが、全く映らないわけではない。

問 借入の市債と返済の公債の関係で、市債の方が相当多くなっているが、災害があつたにせよ、財政計画が狂い始めているのではないか。

答 補助や交付税で見られる部分もあるので、起債残高がどんどん増えるものではない。

問 特別支援学校の事業費は約7億円。体育館はあるが、プール、グラウンドはどうなっているのか。

答 7億円は、訓練校の耐震補強も含む。グラウンドは、用地確保の見込みがたつた時点で考える。プールについては、泳げる子ども達は、ディスプレイ等のプールへ送迎する。水遊びができる程度のプールは開校に間に合

わせた。また、体育館は15m×30mを考えている。

問 特別支援学校は、職業訓練施設の耐用年数もあるし、今後の小中学校の統廃合など空き校舎利用は考慮しているか。

答 訓練校は耐震補強を行いながら今あるものを使つていき、職業訓練施設との連携を生かした就労支援、自立支援を基本方針に据えた。学校統合との整合性は、今すぐ統合しようとする小中学校はない。県の考えも、できるだけ市の中心部におきたい意向だ。

問 特別支援学校の検討委員会での検討経緯と今後の活動は。

答 保護者、小出特別支援学校教諭、市の特別支援学級担当、福祉関係者計24名で検討を重ねてきた。今後もハード面、ソフト面について2か月に1回は協議をしていきたい。

問 地下水熱利用融雪実証で、地下水熱で賄えるだけの交換ができるか。今後の見通しは。

答 地下水熱利用については、西泉田の住宅の集会所と上町のエコ住宅で行

っているが、採熱コイルを長くするなど実験を重ね、効果を高めるなりにして判断していきたい。

問 豪雨災害の復旧は査定前にも着手するということだったが、実際はどうだったか。

答 公共施設の土木関係は、80箇所のうち査定前着手は14箇所。一般廃棄物の処理は、8月から既に契約して事業を進めている。災害土砂の関係でふるい作業を実施しているもの以外はほぼ全てが査定前着手。

農地関連は、査定前着手が21件。査定後、事業費が決定する前に着手したものが、204件。全体で査定を受けた件数は550件である。

問 災害復旧は、農地は来年度作付けに間に合わせるか。

答 規模や金額にもよるが、査定前着工ができる分についてはやっている。来年の春から作付けまでも精力的にやるが、大規模のものは無理なので、減反対応の中で農家に少しでも有利な方法で進める。

地域医療対策調査特別委員会開催

…いよいよはじまる基幹病院建設

10月26日に6回目となる「地域医療対策調査特別委員会」を開催し、県

が建設を進める魚沼基幹病院（平成27年6月開院予定）の進捗状況やそれ

により関係してくる地域医療の再編問題について調査しました。前日25日

に開催された、県と魚沼圏域内の自治体（3市2町）等からなる第3回魚

沼基幹病院財団法人設立準備委員会の内容報告が主でした。

設立準備委員会では、法人名称の決定（新潟県

地域医療推進機構）、理事数や評議員など組織形態

や出捐金の負担割合（財団の基本財産5千万円の

内、県が4千万円、残り5自治体で受け持つ）

などの同意がなされ、予定通りに事業が進められています。いよいよ目に見える形で本年4月に財

団が設立（病院長など決定）され、新病院の建設

工事（現在のゆきぐに大和病院の駐車場に）も始まります。

●魚沼基幹病院について

県内7つの二次医療圏（新潟／県央／上越／中越／下越／佐渡／魚沼）

の設定により進められる魚沼基幹病院。運営の目標とするスタッフ数は

医師70〜90名、看護師約380名、その他の関係

スタッフ160名としています。心配される医師

不足の問題に、新潟大学と東京大学の連携、病院

に併設される研修センターなどにより医師確保を

目指すとしていましたが、9月より新潟大学の各診

療科教授等との具体的な協議が始まっています。周辺病院との役割分担や

医師の派遣、開院時に所属が別れる医師以外のスタッフ（県立病院からの

遇についても検討されています。

●医療再編について

三次救急や高度医療で長岡日赤病院など中越圏

域へ入院患者が流失している現状は、基幹病院設置による再編後様変わり

します。病床数も基幹病院454床、大和病院は

199床から40床へ、市立化される六日町病院

が199床から120床、小出病院が383床

から134床に。一次と軽度の二次までは既存病

院、一次を見ない基幹病院。それら医療機関を有機的に連携させる情報シ

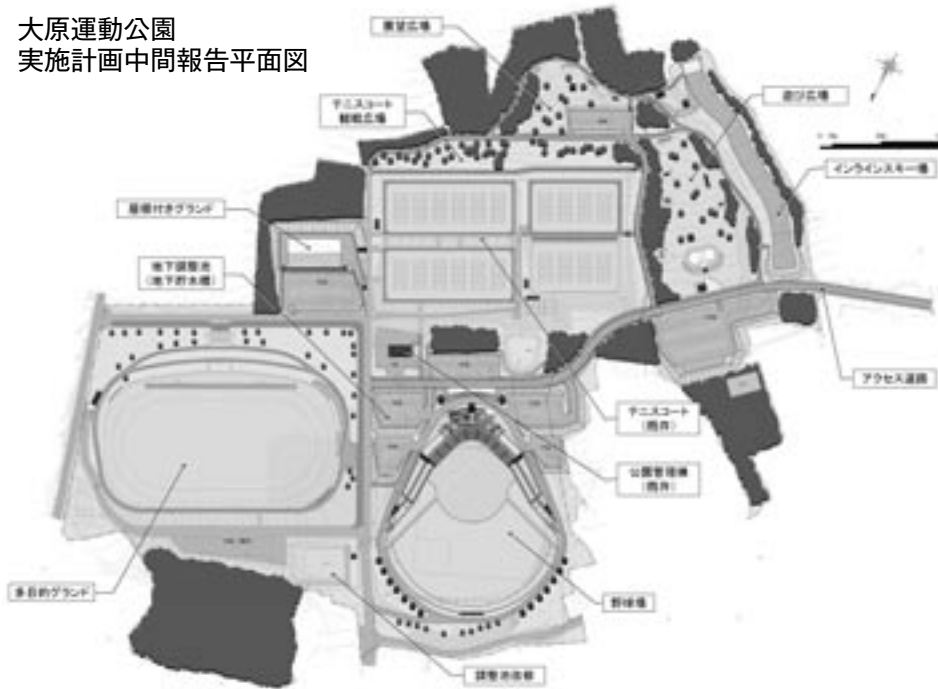
ステムのネットワーク化が重要であり、その準備

が進められています。



魚沼基幹病院完成予想図

大原運動公園
実施計画中間報告平面図



大原運動公園 概要(一期工事分)

【野球場】

- ・規模 両翼100m センター122m
- ・観客席
内野：3000人収容
(ベンチシート1000、芝生2000)
- 外野：なし
- ・グラウンド 内野クレー(土)、外野人工芝
- ・スコアボード
(バックスクリーン一体型。磁気反転式)
- ・サブスコアボード(スタンド側に設置)
- ・ナイター照明(軟式野球一般競技レベル) など

【多目的グラウンド】

- ・規模
サッカー 一般コート1面
少年68m×40m2面
- 野球 少年野球
両翼70m センター85m 2面
- 陸上 110m直線走路 4レーン など

【ランニングコース】

- ・規模
多目的グラウンド周回コース 580m
- 野球場周回コース 510m
- 公園内フラットコース 1.1km

※その他に駐車場等。テニスコートは整備済み。他に二期工事分もあります。

質疑応答 (抜粋)

質問

子どもたちのために、できることはしたいが財政事情にも関係する。2月の全員協議会から事業費がこれでどのくらいになったか分からなければ検討しづらい。(他にも同様意見複数あり)

答弁

概ねこれでいいという形が出たら単価を入れる。今、総額で大雑把に21億円が総合計画に計上されている。極力それを上回らないようにしたいが、この後、精査をしなければ分からない。

質問

目標がなければならない。事業費及び持ち出しはどの位という説明はすべきだ。

答弁

1期、2期トータルで27億円前後。1割前後のズレはあっても、それが目標。

質問

今後のスケジュールは。

答弁

単年度では無理なので、継続費が債務負担行為で24年度予算にお願したい。予算内容は今から審議することはできない。その時お願したい。

質問

BCリーグの可能性はあるの

か。高校野球も県予選のやり方が変わって可能性はないとも聞

答弁

BCリーグは問題ない。高校野球県予選はそういう噂も聞く

質問

が未確認だ。高野連やBCリーグに問い合わせながらやっているの

質問

スコアボードは磁気反転式に、又、ベンチシートへ変更での経費の違いは。

答弁

スコアボードは1割程度安くなり、ランニングコストは電気料が10分の1程度になる見込み

質問

野球場の向き反転による事業費の差はどの位か。

答弁

当初計画より1億円近く安く

質問

屋根付きグラウンドの周りに囲いがなければ意味がない。また、スケートボード用施設の検討は。

答弁

2期計画なので、利用しづらいようなら検討する。スケートボードも同様。

質問

駐車場の台数は大丈夫か。

答弁

筑波大学用地の関連もあり、ここで明確に出せない部分もある。この計画で現在より160台くらい増えるが、行事が重なれば不足するので、一時的対応も考えなくてはならない。

質問(意見)

駐車場の問題を除けばよく工夫してある。これで進めて欲しい。

質問

借金返済が多ければ、どこかに歪が出る。身の丈に合った投資で我慢しなければならぬということはある。余裕が出来たらということは、多少効率は悪いが市民は理解してくれるはずだ。

答弁

身の丈に合ったということも1つの理論だが、いつまでも身の丈だけでは伸びない。少し上を見て進まなければ、将来の希望も何もないという考えだ。

質問

これら意見を聞いて、また全員協議会を開く中で予算に出してもらいたい。

答弁

早めに金額をはじいて全員協議会等で説明は尽くすつもりだ。

春の作付100%は難しい

全員協議会で、新潟・福島豪雨災害の復旧状況の報告がありました。

◎公共土木災害

市の扱い工事80件のうち20件は年度内完了予定及び完了。25年度までに全て復旧する予定です。査定額は12億3千万円。

国・県関連扱い工事25件。現在調査中で24年度から工事に入ります。特に国関連事業は新規扱いもあり、予算面も影響し完了は未定です。

◎農地・農業施設災害

査定件数550件、25億9千万円。発注率は65%（12月末92・2%）。6月の田植えまでに全て完了は難しく、特に河川沿いの護岸関連農地や



水田に土砂が大量流入



市道永松キャンプ場線 道路崩落

山際の災害関連事業の農地など、来年度は休耕になる可能性が高い。

市単独分は全て発注済みで485件、約1億7千万円です。

◎林道災害

44件、治山事業5件、林道の補助対象外は90件になります。

◎応援態勢

県職員、地域振興局、土地改良区職員、NPO法人など延べ2,400人を超える方々から災害査定などに応援をいただきました。また、福井県あわら市、長野県上田市、県内では新発田市、燕市などからも応援をいただき、感謝いたします。

市長所信表明

(抜粋)



総額5,000万円の内、南魚沼市は300万円を出捐する予定です。

■教育・文化

特別支援学校については、実施設計作業を進めています。教室数がどうしても確保できないため、一部増築して対応することにしました。また、

■産業振興

農地・農業用施設災害については、国の補助を受けるため550か所の災害査定を受け、約50%の工事を発注しました。また、40万円未満等で国の補助災害に該当しない小規模災害についても約500件の工事を発注しました。

■環境共生

新潟・福島豪雨災害による不燃物処理施設の災害復旧については、12月末の竣工を目指し工事を実施しています。

■保健・医療・福祉

10月25日に第3回魚沼基幹病院（仮称）財団法人設立準備委員会が開催され、財団法人の名称（新潟県地域医療推進機構）、理事や評議員の考え方、財団法人への出捐の考え方等が提示されました。財団法人への出捐金では、

■都市基盤

新潟・福島豪雨による市が管理する公共土木施設の災害復旧状況については、9月末からの国庫負担申請（災害査定）を

■行財政改革・市民参画

都市計画税については、以前から検討を重ねてきましたが、来年度から税率を2分の1に減じることにしました。

市職員による酒酔い運転につきましては、市民の皆様の信頼を裏切ることとなり深くお詫び申し上げます。今後、二度とこのような不祥事を起こすことがないよう職員に徹底し、規律保持に努めてまいります。

ここで、9月定例会以降の経過等につきましてご報告申し上げます。

特別支援学校については、実施設計作業を進めています。教室数がどうしても確保できないため、一部増築して対応することにしました。また、

農地・農業用施設災害については、国の補助を受けるため550か所の災害査定を受け、約50%の工事を発注しました。また、40万円未満等で国の補助災害に該当しない小規模災害についても約500件の工事を発注しました。

新潟・福島豪雨災害による不燃物処理施設の災害復旧については、12月末の竣工を目指し工事を実施しています。

重機不足等により復旧が遅れている地域等がありますが、できるだけ春の作付けが可能になるよう努めていきます。

新潟・福島豪雨による市が管理する公共土木施設の災害復旧状況については、9月末からの国庫負担申請（災害査定）を

都市計画税については、以前から検討を重ねてきましたが、来年度から税率を2分の1に減じることにしました。

子ども・若者育成支援センターの体制強化を

答 機能が充分に
発揮できるよう努める

樋口和人 議員

「子ども・若者育成支援センター」については「子ども・若者育成支援推進法」の制定・施行に伴い、南魚沼市でも平成

23年4月1日から、それまでの教育支援センターや教育相談などの業務を統合し、新たな体制で運用がなされているところである。

しかし、職員が2名で後は臨時職員や教育ボランティアの皆さんの力で業務がなされているようである。

子どもや若者を取り巻く環境は複雑化しており、その対応としていかなるものか。また、臨時職員

の方々にとっても専門的な資格を有する職業でありながら、生活を維持できずにその職業から離れていくようでは困ると考えるが、教育長の見解を伺う。

教育長

臨時職員の方々や教育ボランティアの皆さんには、重要な仕事でありながら、報酬が少なく心苦しく思っている。その方々の力がなければセンターの業務が成り立たないのも事実である。

まだ立ち上がって間もないので、今年度の様子を見た上で来年度、人員の体制など十分に検討し、教育ボランティアの皆さんとも連携を取りながら「子ども・若者育成支援センター」の機能が充分に発揮できるよう努めていく。



子ども・若者育成支援センター（二日町）

市の食育推進に向け調理室の確保は

答 使い勝手の良い調理室確保のため具体的検討をする

牛木芳雄 議員

平成22年7月に「南魚沼市健康まちづくり食育推進計画」を策定した。食は健康の源であり、自身の体に必要なものを選

んで食べることは健康に直結することである。食の安心・安全志向の高まりとともに食育の大切さが声高に叫ばれている。

このようなことから、地域にとって食生活改善推進委員の果たす役割は大きいと感じているが、その方々の評価は。そして、その活動の場である使い勝手の良い調理室等の確保は十分か。

市長

活動の場である調理室

は、大和地域では「働く婦人の家」、塩沢地域では公民館、そのほか地域開発センターを使用している。箇所数は不足とは考えていない。六日町地域では以前保健センターにあったが、庁舎再編により撤退を余儀なくされた。いろいろ検討した結果、現在はサンテイクスクールの調理室を利用しているが、距離や道具類の使い勝手の悪さを指摘されている。



支援教育制度の充実と今後は

答 自立に向け支援に努める



山田 勝 議員

市内教育行政は、子ども・若者育成支援センター設立や学校耐震補強など非常に先進的に進められている。

しかし近年、支援を必要とする児童生徒は増加している。特別支援学校を市立で建設するが、現状では支援教育は十分に引き届いているとは言えない。一人一人のニーズにあった適切な指導と支援が一層必要である。

特別支援教育の充実と今後は。

教育長

発達障害を持つ児童数は10%という説もある。早くに対応して、一つの

個性として受け止められる程度に留めることが大切。

①視覚障害児童の受け入れには、環境を整備し、卒業まで責任を持って指導する。

②支援を必要とする児童生徒がいれば、どの学校へも支援教室の拡大をしたい。障がいの区分ごとの細分化が望まれるが、整備しきれ

たものではない。

いない。努力する。

③教職員の専門化や研修環境には努めてきたが、特別支援学級の担当としての意識付け動機付けが足りなかった。保護者啓発と共に努める。

④自立に向けての就労や体験の機会は、特別支援学校の施設環境を活かし、観光業、サービ

ス業や福祉関連の作業も身につけられるようにしたい。



小出特別支援学校

大原運動公園整備先送りしても復旧を最優先に

答 復旧を最優先でとりくむ



笠原喜一郎 議員

合併特例債の5年間延長が見込める中では、復旧を優先して大原運動公園整備を1年先送りしても事業に支障はない。今

年度中に復旧が完了するのは、農地・施設災害550か所25億円、公共土木80か所12億円のうち、わずかに10%との予想が示された。9割が次年度に繰り越される。業者が災害復旧に優先的にとりくめるためにも、不急な事業は先送りすべきである。

市長

特例債が5年間延長できるといふことになれば先送りが可能。個々別々には言及できないが、復

旧が最優先である。業者の皆さんの能力にもよるが、事業全ては洗い出しをする。

学校の統合は

20年11月に学区再編等検討委員会の答申が出された。子どもたちにとって好ましい教育環境として、学校規模は小学校で

は6学級以上でかつ1クラス15人以上。中学校では7学級以上が必要とある。「教育を考える会」が

23年度スタートしたが、今までの議論の繰り返しだ。教育委員会が方向を示さないことが一番の原困である。どう進めようとしているのか。

教育長

学校は人数だけでない。統合に向かうにしても交流、連携を進めていく。「統合やむなし」だが、再度確認をし、今後は教育委員会が責任をもって方向を出していく。



豪雨災害現場

本庁舎来客用駐車場の確保策は

答 軽と普通車の分離を検討



小澤 実 議員

行政の本庁舎集約に伴い職員数、そして来庁者が増加している中、駐車場のスペースが狭く困っている状態だ。基本的に

本庁舎南側は来客用として115台分空けてあるが、1台当たりの幅が2m25cmと商業地の駐車場より25cmも狭く、車の乗降が非常に困難である。図書館ができれば更に駐車場不足が懸念されるが、方策は。

8月より福祉保健部の職員70名が本庁舎へ移動し、うち50名が車通勤者である。現在、庁舎の周りには公用車用も含め30

8台分のスペースがある。庁舎まで2km以内の職員は徒歩通勤してもらい、更に50名の職員に交代で市民会館等に駐車してもらっている。庁舎北側の「防災広場」に70台の枠が取れる。来客用の駐車場を軽自動車と普通車に分離することも検討したい。

また、冬期間は排雪場も必要のため、大和・塩沢庁舎からの通勤バスも検討し、将来的には立体駐車場も考えたい。

学校給食に地元野菜の利用を

平成22年度実績で市内産の野菜（きのこ含む）は、35品目18・2t、使用割合で16・3%と低い。貯蔵の利く重量野菜の使用を増やしては。

市長

また、冬期間は排雪場も必要のため、大和・塩沢庁舎からの通勤バスも検討し、将来的には立体駐車場も考えたい。

生産者やJAと協議し、給食用食材として播種時期や品目の調整をして、長期間使用できるようにしたい。



本庁舎南側駐車場

公式野球場は真に「優先政策」か

答 スポーツ振興が子どもの夢を創る



中沢 俊一 議員

「政治に無関心でも金もつけはできるが経済を知らねば政治は為せぬ」。某世界史文学者の箴言だ。以下3点を軸に、市長の

「経営感覚」を質したい。

- ①なぜ公式野球場なのか。公共事業はどの市町村も良かれと思って始めるが、失敗例も多い。健全な財政の市も断念する傾向だ。『青少年に夢を』の標語だけでは市民は納得せぬ。
- ②市財政健全度への意識。平成22年度、南魚沼市の実質公債費比率20・7%。仮に県内平均14・2%と同じならば、年間相当の金額が
- ③産業改革との優先順位。市長所信に「メデイカルタウン」の文字が見えた。基幹病院開院前に、市が効果があるように事前準備を進め、より広い投資を県に促すべきだ。そこそが真の経営感覚だ。

市長

- ①「少年よ大志を抱け」の理念こそ素晴らしい。当市でも2人の若者が一流競技者を目指す、子ども達には大きな希望だ。
- ②県平均並みに下がれば年間約10億円借金返済が減る。水道料が高いことは認識している。
- ③先の「健康ビジネス連峰サミット」でも前向きな発言をした。県とも密接に連携を進める。



再編に向けた 市立病院の整備は

答 新六日町病院は3案で検討中



佐藤 剛 議員

- ① 六日町病院の市への移譲はどう進めるか。
- ② 移譲に伴う市の負担は。
- ③ 大和病院の整備内容とスケジュールは。

- ④ 六日町病院は1次医療を中心とするが、山形県置賜総合病院や新発田病院は患者が集中しうまくいっていない。重複はあっても2次医療をきちんと診る中間的な病院があり、それに基幹病院があつてこそ「地域完結型」の医療再編が実現するのではないか。
- ① 現施設の耐震補強・使用に適した大規模改修案。空き地、既存部分に全面建替え案。一部新築、順次改修案の3整備案で検討している。② 整備方針決定後のために、5億6、500万円の補助金は確保されている。その他は交渉中だが、県立病院を引き継ぐわけだから、投資的部分も経営面も含めて、経営が安定するまで繰出金相当額くらいは検討いただきたいということは言つてある。
- ③ 基幹病院開院の日まで199床と外来を維持する。その後当面は、一時的に外来と再編後の40床を確保しながら現状で新大和病院を開院する。将来の新築も含め整備方法は検討中だ。
- ④ 診療科によつては新六日町病院に2次医療の機能を持たせる。基幹病院まで行かなくても、2次医療を受け、手術もできるようにする。



県立六日町病院

今後の大きな事業が もたらす財政への影響は

答 適切に進めていける



桑原 圭美 議員

- 消防無線のデジタル化については。
- ① 市長 コストは今年度中に算出するが高額になる。消防車両更新等にアナ

- ログ設備は破棄している。平成28年度に消防無線のデジタル化を完了させ、災害時の応援、支援態勢の構築に役立つものと思う。
- ① 市内診療所は果たす機能等を研究し、無くない。六日町病院は中核的役割を担う。
- ② 大和病院は経営悪化の原因を分析し、方針を
- ③ 基幹病院の県からの支援体制については、追つて議会に示す。スタッフの確保等は財団設立以降に具体化する。医師の確保はいきなり70名というのは困難と思う。
- ④ 当初の給与体系は複雑だが、条例を制定しローパー職員を増加させたい。
- ⑤ 六日町、小出病院が市立になった後も県には



特別支援学校となる職業訓練センター

継続して支援をお願いしていく。

桑原 特別支援学校については。

市長 総合的に判断して、西五十沢小の分校方式よりも市立で運営するメリットが高い。教員等は県費、スクールバス等は市で負担する。就労支援、卒業後の進路は幅広い支援をお願いし、検討する。



答 市民の生命と財産を
全力で守る

災害に強い まちづくりを

中沢 一博 議員

東日本大震災を教訓に地域の防災力強化が求められている。災害に強いまちづくりをどう前進させるか伺う。

- ① 六日町断層帯の調査結果は。
- ② 大規模な災害が増加している中、地域防災計画の抜本的見直しを。
- ③ 障がい者・要援護者の支援として、特別支援学校を福祉避難所に指定しては。
- ④ 情報提供体制の整備推進を。
- ⑤ 避難者支援システムの導入を。
- ⑥ 防災計画に女性の視点を。
- ⑦ 防災危機管理課の創設を。

市長

- ① 8月から東大地震研究所による調査が実施された。1月に結果が発表される。
- ② 地域連携の中で早く全行政区で進めたい。
- ③ 支援学校の活用は教育委員会と相談した中で、障がい者の避難施設として進めたい。
- ④ 情報告知ラジオは平成22年から順次拡大配布を実施。大和地域の難聴を解消した中で24・25年各1,000台の配布を予定している。緊急エリアメールとJアラートを今年度中に完了したい。
- ⑤ 良いシステムであるので検討したい。
- ⑥ 女性の視点役割は大きい。防災会議等今後の対策に反映したい。
- ⑦ 平成22年度から防災班を強化し対応しているので今は考えていない。

◆「J-アラート」とは……

全国瞬時警報システムの通称。津波や地震など対処に時間的余裕のない事態が発生した場合に、通信衛星を利用して瞬時に住民に緊急情報を伝達することができるシステムのこと。市民の皆様からの登録が必要。



答 市民に身近な
病院機能を目指す

魚沼基幹病院開院後の 市立六日町病院は

腰越 晃 議員

魚沼基幹病院（仮称）開院後の市立六日町病院について、一般市民からのニーズが高く、市が供給する地域医療に今後必

- ① 基幹病院のサテライト病院としての機能
- ② 終末期医療（ホスピス）終末期に必要な医療を提供する病院機能を。
- ③ 療養病床不足への対応在宅もしくは介護施設への入居が困難な患者への対応。
- ④ リハビリテーション回復期リハビリの充実した機能。
- ⑤ 市民の健康管理機能市役所の保健・福祉機能の中核機能・温浴施設の設置。
- ⑥ 在宅訪問医療や介護施設への医療支援を強化する。終末期医療を担う他の医療機関との連携強化。
- ⑦ 周辺の療養病床を持つ病院と調整し整備を進めたいと考えている。

市長

- ① 基幹病院のサテライト機能の中に、診療・検査情報、健診情報の共有、健診指導などを検討中。
- ② 在宅訪問医療や介護施設への医療支援を強化する。終末期医療を担う他の医療機関との連携強化。
- ③ 周辺の療養病床を持つ病院と調整し整備を進めたいと考えている。
- ④ 回復期のリハビリ機能の充実を図る。
- ⑤ 市民の健康維持・病氣予防機能として重要であり、保健・福祉と連携し体制づくりに努める。六日町病院に保健センターを設置することも検討。
- ⑥ 温泉を使ったりハビリを含めた医療も、特色あるものとして検討する。



県立六日町病院

新図書館の進捗状況は

答 テナント会に早めに説明する



黒滝 松男 議員

実施設計は年度内に完了する予定と聞いている。テナント会には街づくり会社より8月に説明会があり、市の要請を受け、

図書館にしたいという方向性が示されたが、その後具体的な説明がないようだ。

特に中小企業の多いテナントの方は補償問題、従業員の雇用、今後の生活設計等大変ご苦労されている。今後の具体的なスケジュールを街づくり会社及びテナント会へ早急に示すべきでは。

市長 当初予定より、中小企業基盤整備機構との協議

が若干遅れている。

実施設計を進めているが、館内全体の配置問題等を再検討中で、オープン予定が26年度になる可能性も出てきた。テナントの方には早急に説明し、交渉に入りたい。

黒滝 生産者コーナーの存続を。今現在、約120名の農家の方が出荷し、年間約5千万円の販売額である。

説明会では、独立経営が難しいので、24年秋で撤退の予定としている。

農家所得の確保、安全で安心な食べ物の提供等、生産者コーナーの存続を強く求めるが、市長の考えは。

市長 生産者コーナーの必要性は理解している。経営的には厳しいが、廃止ではなく、ララ側あるいは良食生活館と協議しながら存続に向けて努力する。



ショッピングセンター ララ内

全天候型子ども遊び広場を

答 今後も検討する



牧野 晶 議員

市長は1年9か月前の議会で、「長岡てくてく」のような全天候型子ども広場を5年もかからないうちに設置したいと答弁

したが、現在の状況は。

市長

空き校舎等があれば検討し、5年も8年も経過しないうちにやりたいという考えだったが、現在は空き校舎になる予定がない状況だ。旧五十沢小跡地は遠いと思われる。今後、全庁的に利用できる施設がないか検討する。

人事院勧告の実施を

過去の市長答弁では、市職員の給与は国の人事院勧告を準拠するということだったが、今回の0.23%の引き下げを見送ることはおかしいのではないか。

市長

雪害、震災、水害の対応で職員は大変頑張った。今回の見送りは私自身が心で決めた。

牧野

市内法人や市民が災害

で非常に大変な状況の中で、売上、給与は減っていると思う。このような状況で、所得が高いといわれる市職員の給与の引き下げをしないということはおかしくないか。

市長

人件費約1千万円分は下げなかったが、それにより職員の士気などは上がったと思う。その効果は市民にもいい結果になると思う。



市役所本庁舎

原子力防災対策の市の対応は

答 出来るだけ早く示す



関 常幸 議員

東日本大震災から12月11日で9か月が経った。福島県などから県内に避難している人は12月2日現在で7,089人と、

12週連続で増加している。

普通であれば、震災から月日が経つにつれ避難者数は減少するのだが、原発事故はそうではない。

日本は17か所で54基の原発を有し、設置数は世界で3番目だ。南魚沼市は7基の原発がある世界の柏崎刈羽原子力発電所から50キロ圏内にある。

安全神話が崩壊した今、早急に放射能避難対策等が示されなければ市民は不安だが。

市長

県は、12月2日に原子力防災対策見直し素案を発表したので、出来るだけ早く南魚沼市の対応策を示したい。

TPP交渉参加表明をどう思う

この問題は、日本の仕組みをも変える大きな問題で、アメリカやオーストラリア等、文化・歴史、生活・慣習の違う国と、本当にすべて自由にして

いいのか。

日本は戦後、自由貿易のおかげで世界に確たる今日の平和と経済の繁栄を築いてきた。自由貿易を否定するのではなく、相手の事情を認めるFT

市長

Aで十分だ。例外の品目を認めないTPPへの参加は慎重であるべきだ。国会で議論をし、国民の理解を得てから参加すべきだ。



「愛プロジェクト」事業補助に異議あり

答 公平に使っている



鈴木 一 議員

「天地人博」は多くの入場者を迎え、関係者の努力もあり成功裏に終わり、多くの剰余金も出た。その剰余金を基金とし

て必要なところへ交付する趣旨であるはずだが、異議あり。交付要綱の趣旨は「直江兼続公の生誕地として、兼続公が掲げた義と愛の理念の下に南魚沼市を全国に発信する観光振興等を目的とする事業の費用に充てる」と謳っている。

現状はどうか。この資金をプロジェクトチームが私物化し、我田引水も甚だしく感じられる。補助金の存在を広く告知し

市長

今後実績報告を見て納得いかなければ、常任委員会でも取り上げる。

基金の私物化はない。

2009年「天地人」が経済効果をもたらした。「愛プロジェクト」を立ち上げた。地域資源のブランド化のため協力願っている。足湯等、地域の熱い思いで援助している。フィギュア(武将像)については今後見直しをしていく。



青春時代を闊歩した街は今

人件費をカットして水害復旧に 全市で取り組む姿勢を示せ

答 事業費不足による
人件費カットの考えはない



寺口友彦 議員

今年度の復旧予算は80億円に迫る。復旧費全額はこれから出る。激甚災害指定で復旧費は大丈夫か。

市長 激甚災害指定で復旧費は大丈夫だ。

寺口 都市計画税を半額に下げると税金が落ちても大丈夫か。

市長 総合計画の後期分実施は財政健全化を基本にしているので大丈夫。

寺口 人事院勧告を無視して人件費カットをしないのは、今後に影響が出るのではないか。

市長 国の人事院勧告に準拠をするのと国の交付金算定は切り離して考え

てもよいから、影響は出ない。

**原子力安全対策に
SPEEDIを活用
するよう県に求めよ**

柏崎刈羽原子力発電所からの同心円状の距離を基本にした安全対策は不十分だ。

市長 国の指針では同心円状だ。県も同じ考えだ。

寺口 福島第一原子力発電所の高濃度放射線汚染は、風による影響が大で

市長

いうが、駐車場が足りないという指摘もある。大手スポーツ会社の指定管理になれば、市民から遠のき、利用料値上げ、利用法など不便にならないか。市長は財政面の心配はないと言いが、メンテナンスが必要になっても大丈夫か。箱モノは慎重に検討すべき。2万人近い市民はNOを示した。もう一度民意を問うべきでないか。

岩野 松 議員
中間報告の図面は立派だが不安も多い。まず、市民活用が中心か、観光客向けなのか。高野連やBCリーグ級を目指す

あった。飯館村の外部被ばくがそつだ。SPEEDI（緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム）を活用した安全

対策を求めよ。

市長 SPEEDIを県も活用していく方向なので、市もそれに合わせた安全対策を講じる。



福島第一原子力発電所

大原運動公園、 民意を問え

答 選挙が最たる民意



岩野 松 議員

中間報告の図面は立派だが不安も多い。まず、市民活用が中心か、観光客向けなのか。高野連やBCリーグ級を目指す

市長

市民のものであり、市民が主体であるが、観光面もある。大手指定管理になっても、利便性を損ねることはない。料金云々は未定。署名を言うが、あれは民意と言えない。先の市長選公約で市長になり、選挙が最たる民意と言える。20〜30年の耐用年数があり、塩沢地域は観光とスポーツが大きな柱であり、このことが財政を圧迫するもの

肺炎ワクチン助成は

死亡原因で肺炎は4位、95%は65歳以上と言われ、高齢者には命に関わる病気になる。肺炎ワクチンは効果も高く、PRも含めて市の助成対象にできないか。

市長

やるとすれば低所得層が対象だろうが、法律で定められたワクチンでないので、踏み切れない。



可燃ごみ処理施設の 今後は

答 施設更新は大きな課題である



関 昭夫 議員

可燃ごみ処理施設は今後どのくらい使用に耐えると考えているか。
市長 15年想定での施設である。

8年が経過する。今年度

施設延命方針の策定協議会を立ち上げ、延命に向けて着手した。高温溶融する機械でそれぞれの設備に大きな負担がかかる。8年から11年目に多くの設備の更新が必要になる。設備更新を実施してなんとか20年は持たせたい。

関 新たな施設への更新に向けて、どのような考えを持っているか。

8年が経過する。今年度施設延命方針の策定協議会を立ち上げ、延命に向けて着手した。高温溶融する機械でそれぞれの設備に大きな負担がかかる。8年から11年目に多くの設備の更新が必要になる。設備更新を実施してなんとか20年は持たせたい。

市長

将来に向けての大きな課題である。次世代の施設は広域処理も可能だろうと考えている。魚沼市とは事務レベルで情報交換を進めている。それぞれの施設の寿命も考えて、次世代施設のあり方の検討を進めていきたい。

関 建設には10年以上の期間が必要である。更新に向けての計画を立てて進める必要がある。広域化

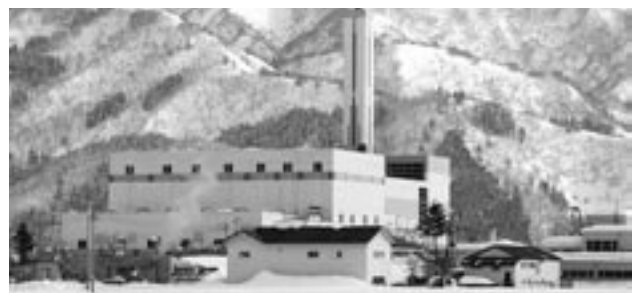
建設には10年以上の期間が必要である。更新に向けての計画を立てて進める必要がある。広域化

ということであれば十日町市も含めて検討してはどうか。

市長

今は共同処理もあって魚沼市と話をしているが、いずれは十日町市、津南町を含めた協議の呼びかけも必要になってくるかと思う。いろいろ違いはあるが、大きな投げかけをすれば話し合いに感じられるのではないかと。折を見て働きかけてみたい。

今は共同処理もあって魚沼市と話をしているが、いずれは十日町市、津南町を含めた協議の呼びかけも必要になってくるかと思う。いろいろ違いはあるが、大きな投げかけをすれば話し合いに感じられるのではないかと。折を見て働きかけてみたい。



可燃ごみ処理施設

当初市有地の 無償譲渡を希望か

答 減額の布石とは考えず



岡村雅夫 議員

日本共産党議員団は9月議会で、旧浦佐幼稚園跡地の譲渡議決に、あまりにも唐突な提案で、説明も納得いくものではないか。

く棄権した。

浦佐萌気園診療所移転・新築計画(案)が私にも届けられた。

①公益事業に準ずると判断した根拠は。

②萌気会は「無償譲渡・無償貸与」が希望だった。説明不足だ。2割減額の布石でないか。

③譲渡契約の内容は。

④計画を把握し、市が関与すべきだ。

⑤大和病院の存続に影響はないか。

市長

①医療施設の充実・医師不足の解消。判例で医療法人とは公益を目的とする事業を行う法人と定義。

②簡素に報告した。表現に気遣い不足があったらお詫びする。この地に貢献した人、布石はなかったと思う。

③買戻し特約条項を設け転売させない。了解を得られれば契約書は公開する。

職員の健康管理は

災害復旧は、職員の頑張りで順調だが、勤務で異常な実態がある。通常の人員配置での大災害、健康管理は大丈夫か。

市長

代休・有休が取れない状態。人事異動等で対応する。職員の健康が第一。



旧浦佐幼稚園 跡地

第一上田小学校 6年生が 一般質問を傍聴

12月14日の議会の一般質問に、市内の第一上田小学校の6年生13名が傍聴にきてくれました。

全員から感想文をいただきましたので、学校の許可を得て、スペースの関係から編集委員会で何点か選ばせていただき、紹介することにしました。



○いつも、教育や未来のことを考え、話し合っていることが分かりました。真剣に大震災のことと南魚沼市のこの問題を解決しようとして頑張っている議員のみなさんこれからの仕事も頑張ってください。
* * *
○ぼくが一番心に残ったことは、質問をしたらすぐにすらすら答えを言っていたし、話が詰まることなくスムーズに進んでいたのですね。ぼくたちも議員さん達のようにいい意見を出して、学校を良くしていきたいです。

○先日、市議会を見学してすごいと思ったことがありました。まず、話し合いがとまらず、進んで意見を言っています。次に、周りにいる人に聞こえやすいように、大きな声ではっきりしゃべっています。すごいと思いました。私たちの暮らしをよくするため、いろんな意見を交わしていることが分かりました。
* * *
○先日は、市議会を見学させていただきありがとうございました。おかげで、どんなことを話し合っているのかが分かりました。どれも

むずかしくておどろきまじりも、笑っていたり、楽しんで、これが特におどろきです。本当にありがとうございました。
* * *
○先日は、市議会の様子を見せていただきありがとうございました。心に残ったことは、質問する人の時間制限30分あるのをはじめて知りました。あと市議会は、国会を小さくしたみたいでした。議員の人が話するとき、話が止まらずスムーズに進んでいるのが、すごいと思いました。休憩時間の

時に声をかけていただきありがとうございました。
* * *
○私は市議会に行つてすごいなあと思ったことは、市長さんや議員さんが質問に答えるところです。長い話なのにとってもわかっていよう、問があかず次々と話をするので、やっぱりさすがだなあと思いました。私は話を聞いていけると難しく、よくわからなかったけど、社会で習った話があったのでわかったところもありました。

「大阪維新の会」の 評価は

答
改革も必要だが、トータル的な行政を考えていきたい



塩谷 寿雄 議員

府政の中で教育法や国家規律法ということを選び、批判も多いながら選挙では多大な支持を得たことについて市長に問う。

特に職員の給料カット、また職員数について改革をしていると思う。行政の立場でやるのか、市民の立場でやるのか、立つ姿勢が問われると思う。

市長

地方自立の考えは同じであり、一括交付金もひも付きではなく、その地方に合った使い方が望ましいと思う。

何か一点の施策を訴えるのではなく、私はトータル的な行政のことを考

3子目以降の 保育料軽減を

えていきたい。

1子目の保育料が1万円の場合、同時入園の2子目は5千円となり、1人当り7,500円だ。1子、2子が小学校以上になり3子が入園した時は2割軽減で8千円であり、差が出る。

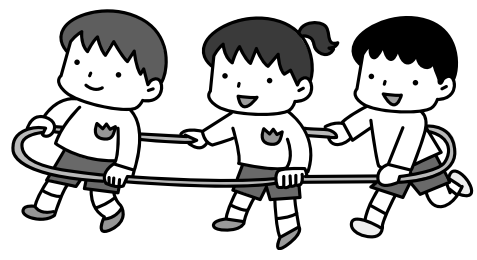
2子を育てるより3子を育てる方が経済的に大変だと思う。3子同時入

園の場合、3子目は無料になるが、サービスを受ける期間は短い。夫婦にとって優しい施策を願いたい。見解を問う

市長

この件に関しては、次年度の検討課題とさせていただきます。保育料で不公平感のない階層間の見直しを考えている。

また、保育児に限らず市内の子育て施策についてはトータル的な支援を考えていきたい。



医療

●医療再編は…

魚沼基幹病院も、4月には市立ゆきぐに大和病院の駐車場内に工事着工。財団法人も設立されます。今議会では、基幹病院建設のため、病院敷地内にある草楽堂の取り壊し予算も可決。平成27年6月開院をめざして、いよいよ具体的に動き出しました。更に、医療再編後市で運営する新六日町病院や市立新ゆきぐに大和病院についても、今時点の整備の考え方が示されました。

六日町病院



新ゆきぐに大和病院の整備の方向

基幹病院開院までは、199床と外来を維持します。基幹病院開院時は、外来と40床程度を確保しながら、現状で新ゆきぐに大和病院を開院します。

その後の整備になりますが、整備の内容は新築かどうかも含め検討中です。

新六日町病院 整備案①

現在の県立六日町病院を耐震補強工事を実施し、使用に応じた大規模改修を行う案。基幹病院開院後の整備になります。

新六日町病院 整備案②

平成5年増築部分を残し、更に仮設を設置しながら、一気に全面改築する案。この案では、仮設費用がかかります。

新六日町病院 整備案③

既存の病院機能を維持しながら、平成26年度までに空き地に入院機能と手術室機能を改築整備し、外来は既存施設を一時活用しますが、その後医療再編の状況を見ながら必要に応じ改築を進める案。



基幹病院建設が着工になるゆきぐに大和病院駐車場



健友館部分が基幹病院と廊下でつながる

12月議会から…

注目の事業

12月議会の委員会報告、一般質問、所信表明等の中で多く取り上げられたり、また内容が見えてきた今注目の事業を一部紹介します。(多くの行政課題や事業の中から、編集委員会が気になった部分を選びました)

観光

●道の駅は…

建設工事は今年7月のグランドオープンに向け、順調に進んでいます。

道の駅は「雪あかり」、直売所は「四季味わい館」の愛称に決まりましたが、現在、直売所に農産物を出荷する協議会の規約等の制定も進めています。

今泉博物館は、「今泉記念館」として生まれ変わり、従来の展示物に加え、棟方志功アートステーション所蔵の作品等も順次移転し展示される予定です。

なお、総事業費は3億8,000万円で、現在までに道の駅自体は概ね95%程度の進捗状況です。



道の駅「雪あかり」

教育

●特別支援学校は…

市立特別支援学校は、職業訓練センターの一部を改築して、平成25年4月開校に向け、現在小出特別支援学校教諭、保護者、市内小中学校教諭等で実施計画を検討中です。

今回の議会で所信表明や複数の議員の一般質問の中で内容が明らかになってきました。

検討経過の中で、教室数が足りず一部増築することになり、また魚沼サンティックスクール実習室を体育館に改造予定でしたが、耐震の関係で取り壊し新設することになりました。

また小プールは設置予定です。グラウンドの設置は必要性も出ており、近隣の土地等条件が整ったら検討することになっています。



職業訓練センター(特別支援学校)

桑原圭美	林茂男	鈴木一	塩谷寿雄	小澤実	黒滝松男	中沢一博	山田勝	今井久美	牧野晶	佐藤剛	寺口友彦	関常幸	井上智明	樋口和人	関昭夫	腰越晃	阿部俊夫	阿部久夫	牛木芳雄	笠原喜一郎	中沢俊一	岩野松	岡村雅夫	若井達男	松原良道
政	歩	歩	歩	み	み	み	政	政	歩	民	民	み	み	み	政	政	政	歩	民	か	か	共	共	み	み
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	※	○	○	○	○	○	○	○

○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○

×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	×	×	※	○	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	※	×	×	×	○	○	×	×
×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	※	×	×	×	○	○	×	×

【会派名称】 歩：歩む会 み：南魚みらいクラブ 政：市政クラブ 民：市民クラブ か：かたくり 共：日本共産党議員団

第2回臨時会・12月議会の全議決結果

表中の記号について

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(※議長は議案裁決に加わりませんが、同数の場合は議長裁決となります。)

◎議案

〈第2回臨時会〉

議案	議員氏名	
	議席順	採決結果
平成23年度南魚沼市一般会計補正予算(第4号)		可決
南魚沼市監査委員の選任について(腰越晃)		同意

〈12月定例会〉

南魚沼市職員の旅費に関する条例の一部改正について		可決
南魚沼市都市計画税条例の一部改正について(3ページに関連記事)		可決
南魚沼市合併振興基金条例の一部改正について		可決
南魚沼市スポーツ推進審議会条例の制定について		可決
南魚沼市スキー場等施設整備奨励条例の制定について(3ページに関連記事)		可決
平成23年度南魚沼市一般会計補正予算(第5号)(3・4ページに関連記事)		可決
平成23年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)(7,372万9千円 追加補正)		可決
平成23年度南魚沼市介護保険特別会計補正予算(第2号)(予算組替え 増減はありません)		可決
平成23年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(873万2千円 追加補正)		可決
平成23年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算(第1号)(93万1千円 追加補正)		可決
平成23年度南魚沼市下水道特別会計補正予算(第3号)(3億3,640万6千円 減額補正)		可決
平成23年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第2号)		可決
南魚沼市可燃ごみ処理施設付属施設「金城の里」の指定管理者の指定について(尙まちだプランニングに決まりました)		可決
南魚沼市農業体験実習館の指定管理者の指定について(レイホー八海管理組合に決まりました)		可決
市道の路線変更について		可決
市道の認定について		可決
南魚沼市教育委員会委員の任命について(角谷正雄さん)		同意
人権擁護委員の候補者の推薦について(行方幸恵さん)		同意
人権擁護委員の候補者の推薦について(坂西勝実さん)		同意

◎請願・陳情

国民への負担増をあらたに強いる「社会保障・税一体改革成案」に反対し、社会保障の充実・改善をもとめる請願(請願者:全日本年金者組合 新潟県本部 南魚沼支部長 土田光男)(紹介議員:岡村雅夫)		不採択
0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに物価指数による年金引き下げを行わないことを求める請願(請願者:全日本年金者組合 新潟県本部 南魚沼支部長 土田光男)(紹介議員:岡村雅夫)		不採択
年金受給資格期間の10年への短縮を求める請願(請願者:全日本年金者組合 新潟県本部 南魚沼支部長 土田光男)(紹介議員:岡村雅夫)		不採択

国・県等へ初の要望活動を実施

～「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会～

平成23年11月25日、「湯沢町・南魚沼市」議会議員協議会(全38名。会長：阿部久夫南魚沼市議会議員)の評議員13名が、国県等に対し4項目の要望活動を行いました。

この会は、両市町議会議員の情報の共有と連携を図り、国県や地域振興に関係する機関への要望や提言を協議することを目的に、平成22年11月に設立されました。

要望項目は右のとおりです。



中央機関 政党団体へ



高崎河川国道事務所



新潟県 土木部

①「一般国道17号新三国トンネル早期開削促進に向けて」

【要旨】 現三国トンネルは開通後52年。老朽化が激しく、災害時の緊急輸送等の面からも、新トンネルの開削が強く望まれます。

②「上越新幹線の活性化と新潟空港への延伸について」

【要旨】 開業30年を迎える上越新幹線は、新潟県の産業、観光等の振興に大きく貢献してきました。しかし2014年、北陸新幹線が長野から金沢に繋がると、上越新幹線の本数が激減する恐れが出ます。新潟空港に繋げることは上越新幹線の存在価値強化に大きな力となります。

③「魚野川流量の安定確保に向けて」

【要旨】 東京電力湯沢発電所で使われる清津川の水の一部を頼ってきた魚野川の水量の抜本的な確保に向けての要望です。

④「JR東日本上越線の円滑な運行について」

【要旨】 南魚沼地域にある高校4校の生徒2,787人の65%が、上越線を利用しています。除雪を強化し、円滑な通学を確保するための要望です。



東京方面、県庁など3班に分かれての活動でしたが、今後とも熱意を伴った要望が必要となります。

編集後記

今年
「辰」は、『漢書』律曆志によると「振」の形が整った状態を表していると考えられ、後に、覚え易くするために神話上の動物である龍が割り当てられたそうである。

ものごとがあるべき形に整う意味があるとするなら、災害からの復旧も含めて、今の日本社会がまさにあるべき姿形になる一年であってほしいと願う。

自然界に摂理があるように、人間社会にも変えるべきではない原理原則がある。ものごとの基本に立ち返り、あるべき姿を模索することも大切ではないか。

今年初の「議会だより」発行にあたって、思ったことである。

編集委員 腰越 晃



3月議会 予告

3月に市議会定例会を開催予定です。

日程のお問合せは
議会事務局 ☎773-6650 へ。

委員 長	佐藤 剛
副委員 長	小澤 茂
委員	林 俊
委員	鈴木 一
委員	黒木 男
委員	腰越 晃
委員	岩野 松

議会広報編集特別委員